

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



県立人と自然の博物館の収蔵品を移動展示する移動博物館が園内に出張。園児は昆虫の標本や恐竜のレプリカを間近に見て、大はしゃぎしていました。(11月18日、つまこども園)



大木町が地域の交流を目的に、西脇中学校吹奏楽部の演奏会を開催。参加者はなじみの曲に手拍子を打ったり、口ずさんだりしながら演奏を楽しみました。(10月24日、平野神社)



市の特産品を味わってもらおうと、黒田庄和牛のスペシャル丼が給食に登場。金ゴマや播州百日どりも提供され、子どもたちは郷土の味に舌鼓を打ちました。(10月27日、市内)



和やかなひとときを過ごしてもらおうと、ロータリーの木や縁石を電飾で飾り、毎日午後5時～9時にイルミネーションを点灯しています。(令和3年2月28日ごろまで、西脇病院)

ウェブ上で避難所の状況配信—災害時の“密”回避へ

〔10月21日 市役所〕



感染症対策のため、ウェブ上で調印式を開催。パカンの河野剛進代表取締役(右)と片山市長

災害発生時にインターネット上で避難所の混み具合や開設状況などを配信するため、株式会社パカン(東京都)と協定を締結。協定は避難所での密を避けることが目的で、避難時に同社のサイトにアクセスすると、地図上に表示された避難所の状況を確認することができ、分散避難につながるものです。

数学・理科甲子園ジュニアで中学生が活躍

〔11月4日 市役所〕



準優勝と入賞の報告のために市役所を訪れた西脇南中学校と黒田庄中学校の生徒たち

兵庫県教育委員会主催の数学・理科甲子園ジュニア2020で、西脇南中学校が準優勝に輝き、黒田庄中学校が5位入賞を果たしました。大会は両科目の知識を活用する力を競うもので、県内45中学校が出場。生徒らは制限時間内に段ボールカーを作り、坂道を転がして目的地までの距離を争いました。

親子連れがマールリング体験

〔11月7日 茜が丘複合施設みらいえ〕



マールリングは水を入れた容器に専用の染料を数色垂らし、水面にできた模様を布に写し取る技法

Tシャツにアートを描くイベントで、親子連れがマールリングによる作品作りを体験。催しは子どもたちに創作の楽しさを感じてもらおうと開いたもので、参加者は講師を務めた市美術協会の藤原廣幸さんから助言を受けながら、Tシャツにマールリングを施し、筆で花や動物などを描いて完成させました。



男子のスタート



女子のスタート

男子第75回・女子第37回兵庫県高校駅伝競走大会に、市内から西脇工業高校の男女と西脇高校男子が出場。新型コロナウイルス感染防止のため、沿道での観戦自粛が呼び掛けられ、例年とは様相が異なる中での開催となりました。

西脇工業高校の男子は2時間9分10秒の3位、女子は1時間12分18秒の2位でゴールし、男女そろって入賞。9年ぶりに県大会に出場した西脇高校男子は、2時間26分53秒の38位でした。

両校の選手は、いつも温かい声援を送ってくれる西脇市民の皆さんに感謝の気持ちを伝えようと、ユニフォームとタスキに播州織の生地を付けて大会に臨みました。



生徒らの指導を受けながら小物入れ作りをする参加者(右)

西脇北高校がこどもプラザとともに播州織のワークショップ「播州織であそぼ」を開き、親子連れが小物入れ作りに挑戦しました。イベントは地域交流と播州織の振興が目的で、西脇北高校と黒田庄中学校の生徒が指導を務めました。参加者は生徒らから作り方を教わりながら、播州織の生地を貼った厚紙を組み立てて、オリジナルの小物入れに仕上げました。

西脇北高生がワークショップ開催

〔11月7日、21日 茜が丘複合施設みらいえ〕



片山市長から感謝状を受け取る上月美智子会長(右から2人目)ら

これまでの活動で得た収益金の一部を市政に役立ててほしいと、西脇市婦人共励会から1千万円を寄付いただきました。同会は、昭和33年ごろにできた西脇市母子家庭後援会を前身に昭和54年に設立され、ひとり親や寡婦家庭の地位向上や福祉の増進に向けた社会的な活動を実施。病院の売店運営などで収益金を積み立ててきました。市はひとり親家庭の支援などに活用します。

婦人共励会が1千万円寄付

〔10月27日 市役所〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!